

2018年2月

冬休みの中国旅行記

滝田 和己

早いもので、もう2月となりました。来学期は3月の頭に始まるのでこの2月は丸々冬休みとなります。中国内陸部に位置する山西省は2月でも厳しい寒さが続き、半数以上の留学生は自国へ帰国しました。山西省は中国でも比較的寒い場所ですが、中国は広いので場所によって温度の差が大きいです。先月のレポートでも述べましたが、この冬休み期間中は中国各地を回りました（ハルビン、シンセン、ナンキン）。場所によっては山西省よりも寒く、また暑く、温度以外にもたくさんの経験や発見をしましたので、今月号は私の中国旅行記を、各場所に分けて皆さんに紹介したいと思います。

ハルビン（哈尔滨市）

1つめは先月のレポートの続きでハルビンです。ハルビンでは、私が体験した中国の新年を紹介します。今年の春節は2月16日で、私は親戚の家で新年を迎えました。この日は中国国民にとって最も重要な日であり、この日に合わせて皆ふるさとに帰ります。そのため列車や飛行機のチケットが取りにくく、また非常に混みやすい帰省ラッシュが発生します。これを中国語で春运（ツウェンユン）と言います。そのため2月のチケットを買う際には、特に早めの予約が必要です。中国での新年では家族や親戚が集まり、様々なことをします。

まずは食事面。家庭にもよるのですが、基本的には何品もの料理を準備して、とても豪華に仕上げます。餃子を食べる際には、何個かの餃子の中に小さなコインを入れて茹でます（中国では水餃子が主流）。そして、もしコイン入りの餃子を見つければ、その年はお金が貯まりやすいと言われていています。私のいとこや姪っ子達はコイン入りの餃子を見つければ出来たのですが、唯一私だけ見つけられないままお腹がいっぱいになってしまいました。残念でしたが、フォーチュンクッキーみたいで楽しい食事ができました。

次に行事面。現在中国では大気汚染等の問題で禁止されている所も多いですが、新年には爆竹を鳴らします。中国語では放炮（ファンパオ）と言います。本来は新年になる瞬間の深夜0時に皆で一斉に爆竹を鳴らします。しかし最近では早めに10時ぐらいに鳴らすなど、家庭によって自由です。では、なぜ中国では新年に爆竹を鳴らすのでしょうか？この伝統にはある言い伝えが存在します。『中国古代には「年」という凶暴な怪獣がいました。毎年除夕（ツウーシー：年の終わり、春節の前日）にこの年は村にやって来ては村の食料を食いあさり、村人にも被害が出て大変な騒ぎとなりました。そこで毎年、この時期になると村人たちは遠くに逃げるようになりまし。ある日、村にある一人のおじいさんがやって来て、村の事情を知ると「わしに任せろ、年を追い払ってやる」と言うのです。村人たちはそれを信じず村から逃げ、そのおじいさんだけが残りまし。そしてとうとう年が村を襲いに来まし。そこでおじいさんは爆竹を盛大に鳴らし、年を追い払うことに成功し、村に平和が訪れまし。』これが新年に爆竹を鳴らす由来だと言われていています。したがって新年には中国の町中は赤く灯され、新年を祝う文字が書かれた、春联（ツウンリエン）と呼ばれる赤い紙を玄関等に貼り、爆竹を鳴らします。

日本と似ている文化も存在します。日本の正月で子供達が楽しみにしているのは「お年玉」ですね。中国でも新年に大人が子供にお金を渡す習慣があり、このお金を「红包（ホンバオ）」または「压岁钱（ヤースイチェン）」と言います。中国ではお金を赤い封筒に入れて渡します。

シンセン（深圳市）

中国南部に位置する広東省の中でも、近年発展が著しい都市がシンセンです。30年ほど前は漁業が盛んな平凡な村でしたが、良い立地や香港に隣接していることなどから経済特区が設けられ、急速な発展を遂げた都市です。日本企業の会社や工場も多く、最近発展を遂げたこともあり、中国内陸部や外国から来た人が多いです。よってカントン語よりもマンダリンが多く使われます。

香港にも行ったのですが、シンセンに隣接しているのにもかかわらず、カントン語・マンダリン・英語が街中で使われ、不思議な感覚でした。外国人も多く、街の雰囲気は良かったです。

ナンキン（南京市）

南京は江苏省の中心都市で、上海にとっても近い場所に立地しています。街並みがとても綺麗で、中国古代の建築が多く残っており、見どころ満載な観光地です。様々な場所に行って楽しみましたが、中でも印象に残っているのが「南京大虐殺記念館」です。館内には生々しい写真や当時の新聞がたくさん展示されていました。日本が中国に侵略した歴史を勉強するのは今回が初めてでしたが、戦争の怖さや残酷さを改めて感じました。過去の事実を知ること、日中友好のために重要であると思うので、この記念館は日本人にもぜひ行って欲しい場所です。全ての展示には日本語の解説があり、かつ無料で入れますので、南京に行ったときは立ち寄ってみてください。

今月は太原に関係なく、中国各地について紹介しましたが、この冬休みに旅行ができたのもこの留学のおかげです。中国に長期間滞在できるからこそ、日本から行く旅行に比べて安く中国を回ることが出来ました。冬休みを有意義に過ごすことができ、本当に充実した生活を送れています。改めてこのプログラムに感謝します。

ハルビンにて



左：冰雪大世界

右：春節の豪華な料理

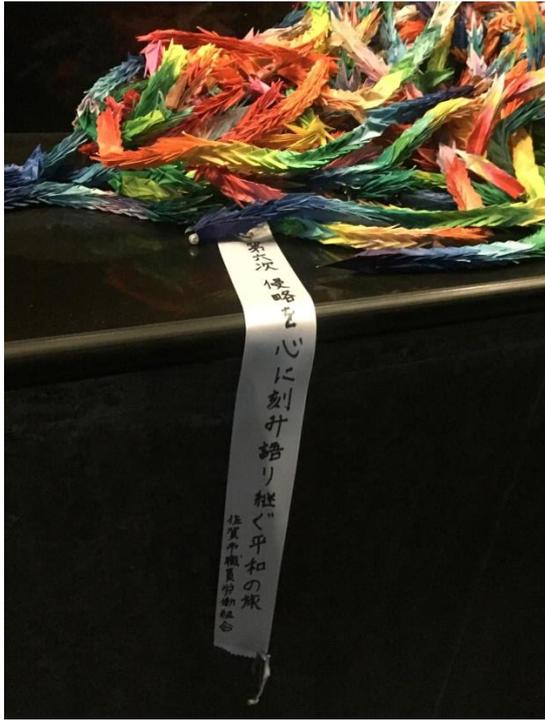
シンセンにて



左：2月でも暖かく、大きな熱帯植物も見かけます。

右：テーマパーク「世界の窓」でのピラミッド

南京にて



左：南京大虐殺記念館に贈られた千羽鶴

右：總統府の正面。かつて政府の中心だった場所。